

2015-16年度 国際ロータリー 第2790地区 第12分区

インターシティ・ミーティング

5クラブ 合同例会

報告書



世界へのプレゼントになろう
「ロータリーをやさしく理解する」

参加クラブ

松戸RC 第2870回例会
松戸北RC 第2069回例会
松戸西RC 第1388回例会

松戸東RC 第2204回例会
松戸中央RC 第1597回例会

日時 2015年7月29日(水) 12:30 点鐘 会場 松戸商工会議所 5階 大会議室

主催 第12分区ガバナー補佐 杉浦 昌則(松戸西RC)



第1部 第12分区5クラブ合同例会 式次第

司会 松戸西RC幹事 松尾 雄二

12:30	点鐘	松戸西RC会長 細田 昌男
	国歌 並びに ロータリーソング 「奉仕の理想」 斉唱	
	来賓紹介	松戸西RC幹事 松尾 雄二
	第12分区会長 幹事紹介	松戸西RC幹事 松尾 雄二
	ホストクラブ会長挨拶	松戸西RC会長 細田 昌男
	幹事報告	松戸西RC幹事 松尾 雄二
	ニコニコ発表	松戸西RC幹事 松尾 雄二
12:50	点鐘	松戸西RC会長 細田 昌男

第2部 インターシティ・ミーティング 式次第

司会 ガバナー補佐幹事 関口 貴之

12:50	点鐘	ガバナー補佐 杉浦 昌則
	第12分区ガバナー補佐挨拶	ガバナー補佐 杉浦 昌則
	来賓ご挨拶	第2790地区パストガバナー 土屋 亮平様 第2790地区パストガバナー 石井亮太郎様
13:20	基調講演「ロータリーをやさしく理解する」	国際ロータリー第2790地区ガバナー 櫻木英一郎様
14:50	第2790地区PJ委員会PRタイム	職業奉仕委員会 中村 俊人様、社会奉仕委員会 根本 孝英様、 国際奉仕委員会 梅原 佐一様
15:05	感謝状贈呈並びに直前ガバナー補佐ご挨拶	直前ガバナー補佐 高崎 信昭
	次年度ガバナー補佐ご挨拶	松戸RC 小倉 純夫
	次年度ホストクラブ会長ご挨拶	松戸RC会長エレクト 織田 信幸
	閉会挨拶	松戸西RC会長エレクト 中村 文典
15:20	点鐘	ガバナー補佐 杉浦 昌則

2015-16年度 国際ロータリー 第2790地区 第12分区

5クラブ 合同例会



司会：松戸西ロータリクラブ
幹事 松尾 雄二



ホストクラブ会長挨拶



松戸西ロータリークラブ

会長 細田 昌男

皆様、こんにちは。ホストクラブの松戸西ロータリークラブ会長の細田です。本日は、インターシティミーティングがございますので、松戸市内ロータリークラブの合同例会となりました。代表して一言ご挨拶申し上げます。

ご案内のように、本日のIMは、櫻木ガバナーによる90分にわたる講演がメインプログラムとなっております。「ロータリーをやさしく理解する」というテーマでございます。当分区では、通例2月にIMを行ってまいりました。昨年度は少し早まって10月に開催され、今年度はさらに早めて本日の開催となりました。5クラブの会長幹事の皆様には、エレクトの段階から、準備に入り、杉浦ガバナー補佐のもとで何度も協議を重ねてまいりました。メインプログラムのガバナーによる基調講演につきましては、こちらサイドからお願いしたわけではなく、あくまでもガバナーご自身のご要望によるものであります。ガバナーの熱意と意気込みを感じる次第です。どのようなお話をされるか皆様ご期待いただきたいと存じます。IMは一年に一度の分区内の会員の皆様の懇親の場でもありますので、最後までお楽しみください。

最後に、本日の合同例会ならびにIMの設営につきましては、関口ガバナー補佐幹事及び浅野実行委員長を中心に、準備など遺漏のないよう努めたつもりですが、行き届かない点、お気に召さないことなど多々あるかと思いますが、寛容の精神でお許しいただければとお願い申し上げます。

終わりに、当分区内の各ロータリークラブのご発展と、来賓の皆様また会員各位のご健勝を祈念しまして、ご挨拶と致します。

ありがとうございました。

来賓・お客様 紹介



第2790地区 ガバナー 櫻木 英一郎様
 第2790地区 パストガバナー 土屋 亮平様
 第2790地区 パストガバナー 石井 亮太郎様
 第2790地区 幹事長 梶原 等様
 第2790地区 国際奉仕委員会委員長 石井 弘様
 第2790地区職業奉仕委員会 中村 俊人様
 第2790地区社会奉仕委員会 根本 孝英様
 第2790地区国際奉仕委員会 梅原 佐一様

第12分区 会長 幹事 紹介

松戸ロータリークラブ 小林 孝数会長
 湯本 高之幹事
 松戸東ロータリークラブ 庄田 惣之助会長
 大越 竜美幹事
 松戸北ロータリークラブ 小澤 盛明会長
 高崎 卓哉幹事
 松戸中央ロータリークラブ 張ヶ谷 勉会長
 入木田 健一幹事
 松戸西ロータリークラブ 細田 昌男会長
 松尾 雄二幹事



ニコニコ報告

第2790地区 パストガバナー 土屋 亮平様 第2790地区 パストガバナー 石井亮太郎様

2015-16年度 国際ロータリー 第2790地区 第12分区

インターシティ・ミーティング



司会：ガバナー補佐幹事
関口 貴之

ガバナー補佐挨拶



国際ロータリー第2790地区第12分区
2015 - 16年度ガバナー補佐 杉浦 昌則

皆様こんにちは。只今、ご紹介に預かりました2015 - 16年度 第12分区ガバナー補佐の杉浦昌則と申します。

本日は大変お暑い中、櫻木ガバナーはじめ土屋亮平パストガバナー・石井亮太郎パストガバナー、そして梶原 等地区幹事長と、地区委員の皆様、ようこそお越し下さいました。

今年度のインターシティ・ミーティングは7月の開催ということで、異例の日程となっております。準備期間は前期である6月中に目途を付けなければならないことになり、前年度の高崎ガバナー補佐と福澤補佐幹事をお願いし、今年1月の「会長・幹事会」にオブザーバー出席をさせて頂き、IMのご理解とご支援をお願いし、皆様に快く受け入れて頂きました。本当に感謝申し上げます。そして2月・4月・6月と本年度の会長・幹事にお集まり頂き、「会長・幹事エレクト会議」を開催し、12分区全体のご理解とご指導を受け、本日ここに開催の運びとなりました。

櫻木ガバナーは今年1月に、サンディエゴの国際協議会に出席され、ラビンドランRI会長からのメッセージ発表を、直接お聞きになり、又、一緒に写真に収まり、その生のお姿・お声から伝わる情報を、私たちに直接お話頂けるものと私も大変、楽しみにしております。

本日のタイトルにもありますように、今年度の地区方針は「ロータリーをやさしく理解する」と謳われております。そして地区行動目標として、「原点を知り、考える」があります。この二つの指針を念頭に置き、本日の基調講演となります櫻木ガバナーのお話を、じっくりお聞かせ頂きたいと思っております。

話は整いませんが、本日のIMの開催にあたり、あらためて皆様に感謝と御礼の気持ちをお伝えし、12分区ガバナー補佐の挨拶とさせていただきます。皆様、本当に有難うございます。

来賓ご挨拶



国際ロータリー第2790地区
パストガバナー 土屋 亮平 様

皆さん、こんにちは。激暑とは言いますが、まことに激暑続きでして、いかがお過ごしでございますでしょうか。

本日は、杉浦ガバナー補佐の主催しますIMが、このように盛大に開催できますことを心からお慶び申し上げる次第でございます。そもそもIMとは、私共がもう100年も続いているプログラムでございました。ただ最近のRIは、古いものをあまり好みませんで、進歩の妨げになるということで、なるべく変えようという傾向が非常に強うございます。3年ほど前にIMは、手続要覧からなくなってしまいました。RIの正式行事ではなくなってしまったのです。

この歴史をちょっと紐解いてみますと、1912年に、サンフランシスコクラブそしてオーランドクラブ。この2クラブが湾を通じて、両方対峙しておりました。まだ、いまのゴールデンブリッジはございません。船で行く他なかったのであります。そのオーランドクラブが、ある時、サンフランシスコクラブを訪問しました。その時、大歓迎を受け、親睦の輪が非常に強まり、ロータリの精神が大いにここで、奮起したような前例がございました。次の1913年に、答礼ということで、サンフランシスコクラブがオーランドクラブを訪問致しました。そしてその時にも、大変な歓迎を受け、これがRIでも、(そのときは、まだ、RIではありませんが)国際ロータリーの幹部の人たちが、大変良いプログラムという風に感心致しまして、これを正式なプログラムとしようということが、まず出発点でございます。そしてそれが脈々と100年間続いておりました。決して古いものが悪いものではございませんでしようが、ただ全てを新しくするということが、はたして良いものでしょうか?その点と致しましては、この進化論、ダーウィンの進化論から、脱皮できないものは、滅びるというようなものがありまして、なるべく古いものは変えようという傾向が、いまでも続いております。私はこれがロータリーの会員の増強が思わしくないというのも、大いなる原因をしているのではないかと、そんな風に感じてなりません。

私は今日ここに、石井パストガバナーもいらっしゃいます、当分区には、3名のパストガバナーがおります。代表して、今、お話しているのですが、石井さんも同じような考えでございます。得居さんは確認しておりませんが、まあ、そのような、私どもの古いロータリアンの考えでございます。これを、新しい人たち、新しいロータリアンの人たちが、どのようにこれを理解してくれるか、これはお一人お一人のロータリアンの胸の中でじっくりと考えて頂いて、将来のロータリーのために、そしてロータリーの本質であります「思いやりの心」「Idea of service」をどのように表現していくか、これが、ロータリーの全てでございます。どうぞ、今日一日、皆様とともに、ロータリーをもう一回、見直して、ロータリーとは、ロータリアンとは、どうあるべきか、ロータリーの将来がどうあるべきか、もう一度一考する良い機会になれば幸いです。

これからの櫻木ガバナーの講演がでございます。どうぞこれを拝聴いたしまして、これを一つの糧といたしまして、今日一日が有意義でありますことを御祈念申し上げます、ご挨拶と致します。本日はご苦労さまでございました。



来賓ご挨拶



国際ロータリー第2790地区
パストガバナー 石井 亮太郎 様

皆さん、お暑うございます。毎日猛暑が続く中、櫻木ガバナー、地区幹事長、当分
区にご指導にお出かけ頂きまして、誠にありがとうございます。心から感謝を申し上
げます。それから、杉浦ガバナー補佐、ガバナー補佐幹事、あるいはホストクラブの
皆さん、大変お骨折りを頂いて、このIMが開催できたことを心から感謝申し上げ、
敬意をおおくりするところでございます。

先ほどガバナー補佐と打ち合わせしたのですが、土屋さんにかわって代表してご挨拶
いただければ、私は、省略させてほしいと、申し上げたのですが、「印刷物に名前
が載っているから駄目だ」と言われまして（会場 笑）、ここに立たせて頂きました。
今、IMについては土屋先輩から随分色々お話がありました。こういう会合が良いか悪
いかは別と致しまして、皆さんが一堂に会しまして、心を通わせ合える集いになれば、
そこにガバナーの助言が頂ければ、これは効果があがるものと私も思っております。

地区協議会に私は、用があって出られませんが、ガバナー事務所から記録を送って
頂きまして、それを拝読いたしました。非常にガバナーは張り切っておられまして、
もうさっきうかがうところ、IMを7つか8つ終わられてここにきておられるようです。
まだ公式訪問がありますが、先に、チラシをまいておいて、それに基づいて公式訪問
で皆さんと議論しようと、そういう移行のように記録には書いてありました。です
から、今日のガバナーのスピーチを心に留めて頂いて、公式訪問でガバナーとがっちり
膝を交えて御討議いただければ。ロータリーは、私、やさしいものではないと思っ
ております。しかし、やさしく理解しようと、こう仰っているので、今日は、十分に、
やさしく理解するコツをご教授頂ければ、皆さんも得心が頂けるのではと、かように
考えております。今日は時間の許す限り、皆さんご出席をいただき実りある時間をお
過ごし頂くこと、心より祈念致しまして、御挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました。

基調講演



国際ロータリー第2790地区
ガバナー 櫻木 英一郎 様

始めに

この度はロータリー年度が始まって間もなくというお忙しい時期に、全分区にIMを開催するようにお願いいたしました。ガバナー補佐の皆様、主幹クラブ、そして分区内の各クラブの方々には大変ご負担が多かった事と存じます。このような状況にも拘らずこのIMを敢行する事に同意して頂いた各クラブの皆様、準備をして頂いたガバナー補佐、主幹クラブの皆様には厚くお礼申し上げます。

特にガバナー補佐の皆様へ

ガバナー補佐就任が決まった時からIMについてのそれぞれのお考えや抱負があった事と存じます。また分区ごとの慣例もある事と存じます。これを考えた時にこの時期にこういう形でのIMをお願いすることに大きな逡巡もありました。

しかし、私のガバナーとしての想いを分区内のクラブ会員に伝えるという希望をご理解下さり、ご自分のお考えに優先してこのIMを開催して下さいたことに深く感謝申し上げます。

ロータリーの年度

ロータリーの毎年、その前々年度のガバナーノミネーターが7月1日にガバナーエレクト（GE）という称号を得て自らがガバナーとして活動する為の具体的な計画を立案する事に始まります。GE年度の9月、11月にはガバナーエレクト研修セミナー（GETS）でガバナーの基礎勉強をし、年が明けた1月にはサンディエゴでの国際協議会に参加する事が必須条件です。

このサンディエゴでの国際協議会で自らの年度のRI会長（今年度はラビンドラン氏）のRIテーマや方針を学びます。

三大セミナー

それを地区に持ち帰って地区内に周知するのがGEの役目です。併せて自らの地区運営方針も皆様にお伝えします。

その方法は、第1番目に地区チーム研修セミナーで次年度の地区役員や各委員会にお伝えします。第2番目に会長エレクト研修セミナー（PETS）で次年度のクラブ会長さんにお伝えします。第3番目に地区研修・協議会で各クラブの主要委員長さんにお伝えします。このように徐々に伝える相手を細分化してゆく、いわゆる三大セミナーと呼ばれる一連のセミナーです。

この時期にIMの開催をお願いした理由

私はこの三大セミナーに続いて、更に地区内の各会員の皆様にもRI会長方針、地区運営方針、そして私のロータリーに対する考え方を直接お伝えする機会としてIMをお願いしました。

地区内14の全分区のIMでラビンドランRI会長のテーマである [Be a gift to the world] の解釈、私の地区行動目標である「原点を知り、考える」の意味、また地区の活動方針をお伝えしたいと思います。

また、地区方針の一つである「ロータリーをやさしく理解する」の具体的な事も話をさせていただきます。

ロータリーをやさしく理解する

「ロータリーは難しくて理解できない」という言葉をよく聞きます。これがロータリーへの熱意や興味を減少させ、やがてはロータリー離れに繋がるのではないのでしょうか。

そこでまず第一歩としてロータリーをやさしく理解する事から入ることが有効だと考えます。その後徐々に理解や意識を高めて行けばロータリーに対する尽きることのない興味が湧きます。

これが活性化に繋がっていきます。

目指すところ

私の究極の目標は、ガバナー候補を沢山作る事、ガバナーになる人を増やす事にあります。これは我が地区の慣習、ガバナー選出の制度、地区の意識、クラブの意識、会員の意識などの全ての事がその方向に向かなくてはなりません。

その一環として、ガバナーが出来る事をやっ行ってこうと考えております。地区方針、地区組織、地区予算の全てにその意向を盛り込みました。

そして一番重要な要素は会員の皆様の意識の活性化です。

このIMを活性化を促す機会と捉えさせていただきます。

ガバナー候補が多く出る為には地区が活性化するという要因・原因が必要であり、ガバナー候補が安定して続く事が地区が活性化する結果をもたらすと信じます。

各クラブへのガバナー公式訪問

このIMでの私の話を肴にして各クラブ公式訪問で意見交換をさせていただきます。
ガバナーが言う事を聞く会ではなく意見交換です。それが地区内のロータリー意識の
更なる活性化に繋がって欲しいと願います。

よろしくお祈いします

三大セミナー ... IM ... ガバナー公式訪問の一連の中のIMです。
この機会が皆様にとって少しでも有為な時間となる事を望んでおります。
宜しくお祈い致します。



第2790地区PJ委員会PRタイム



第2790地区職業奉仕委員会 中村 俊人様

職業奉仕委員会

私は、地区職業奉仕委員会の中村 俊人です。

貴重なIMにおいて、奉仕プロジェクト委員会のPRタイムを設けていただきました。ガバナー補佐の杉浦様に、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

なぜ、ロータリーの金看板と言われた職業奉仕が、社会奉仕、国際奉仕と同居できるのかという疑問を、まず払拭していきたいと思います。今まで、あまりにも職業奉仕を理念的なものとして、難しく難しく考える傾向にありました。本当に難しいのでしょうか。考えてみてください。あなたの職業は、理念的なものですか、それとも実践的なものですか？そうなんです。職業は実践そのものであることに疑念の余地はないのです。

ロータリアンが作った川柳があります。聞いてください。

「神様がうるさくいうのは かせぎ方（稼ぎ方）」

実に、ピッタリの表現です。ロータリアンにふさわしい、センスの良い稼ぎ方を考えてみましょう。

お客様に寄り添い、潜在顧客に対してまでも気配りをする営業をしていますか？その気配りに対する見返りが、職業人のあなたの報酬といってもよいでしょう。センス良く存分に稼ぎましょう。そして、あなた自身が豊かになりましょう。経済的な豊かさが、豊かな心を生みます。豊かな心から、周囲に対する気配りが生まれます。それが職業奉仕なのです。実に簡単な事です。

地域社会に対する気配りが社会奉仕であり、世界に対する心配りが国際奉仕の出発点です。すべて、ロータリアンのあなた自身が心豊かだからこそ、他者に寄り添うことができるのです。社会奉仕、国際奉仕や職業奉仕もその出発点は心の豊かさである筈です。相手を思う心、すなわちサービス（service）です。

クラブが元気になるためには、労はいといません。一緒に考えてみませんか。卓話の申込みをお待ちしています。

次は、社会奉仕委員会です。



社会奉仕委員会

第2790地区社会奉仕委員会 根本 孝英 様

2番手、地区社会奉仕委員会委員・根本 孝英です。職業奉仕委員会の中村さんから、職業奉仕も社会奉仕も、そして国際奉仕も、その出発点はロータリアンとしての「相手を思う心、サービス」であるというお話がございました。

言うまでもなく、社会奉仕の場合、その「相手」が「地域社会」です。宇佐美年度に、当地区の各クラブの皆様のご協力を得て、過去に行ったことのある社会奉仕活動に関するアンケート調査を実施しました。その結果、ご回答いただいたすべてのクラブが何らかの社会奉仕活動を行っているとのことでした。また、継続事業をされているクラブが約90%あり、新たな事業を始められたクラブも4分の3近くありました。社会奉仕活動の実践が定着していることを裏付ける結果と言えます。が、ひょっとすると、これらはクラブの過去の蓄積であるかもしれません。マンネリにおちいつているかもしれません。

会員がクラブの社会奉仕活動に魅力を感じ、充実感を持って積極的に参加しているでしょうか？また、個人奉仕の活動に反映されているでしょうか？更には、クラブの社会奉仕活動に共感し、新たに入会された会員の方はいらっしゃるでしょうか？社会活動をグレードアップし、クラブが活性化し、会員がそれに充実感を覚え、個人レベルでも活動する事によって新会員が増える、今年度、地区社会奉仕委員会ではこんなストーリーの中で、皆様のクラブが地域のニーズをとらえて新たな社会奉仕事業を始めたり、継続事業をより良いものに変えていくお手伝いをさせていただければと考えております。

具体的には、まず皆様のご協力をいただき、クラブの宇佐美年度の社会奉仕活動を振り返る、更には櫻木年度の計画を語っていただくアンケートを実施させていただきます。この中で、地域のニーズ発掘から始まり実行していく過程でのクラブメンバーの関わり、地区補助金の活用などをお聞きすることになります。このアンケート結果から、地区内他クラブの活動を参考に、皆様のクラブとしての活動を、今期については今からでもできるステップアップや、来期、青木年度の新規事業計画の立案に繋がっていただければと考えております。更には、地区委員としても地域のニーズを積極的に発掘し、皆様にご提示できるように取り組んで参ります。これらは、10月10日開催予定の地区奉仕プロジェクトセミナーで報告させていただきます。

社会奉仕活動についてのご相談や卓話のご要望には、地区社会奉仕委員全員で随時対応させていただきます。また、財団の地区補助金の活用についても財団委員会と連携をとりながら、ご相談に応じてまいります。気軽にご連絡いただければと地区委員全員が望んでいます。次は、最終バッター国際奉仕委員の梅原さんです。



第2790地区国際奉仕委員会 梅原 佐一様

国際奉仕委員会

地区国際奉仕委員会の梅原 佐一です。本年度のスローガンは、お手元の資料にございますように「地区国際奉仕委員会は、各クラブの国際奉仕活動が一步世界へ踏み出せるように支援します」です。昨年、実施しました国際奉仕委員会アンケートによりますと、現在の第2790地区の国際奉仕活動を3つに分けることができます。

一つ目

会員が少ない、資金がない、人脈がない、したがって国際奉仕活動が休止、または停止しているロータリークラブが全体のなんと35%になってしまっています。残念なことであります。

二つ目

国際奉仕活動も姉妹提携も行われ活動はしているが、毎年、同じことの繰り返しになり、少しマンネリ化し、これを打破しようと考えているロータリークラブ

三つ目

今、激しく燃えて国際奉仕活動を行っているロータリークラブ

本日この会場にお集まりの第12分区の皆さんのクラブはどれに当たるでしょうか？

- (1) 国際奉仕活動に一步踏み出すことに迷われているクラブの方へ
 - ・他のロータリークラブが実施している実例
 - ・ガバナーへ寄せられている各国より奉仕プロジェクトへのオファーの公開
 - ・卓話へ各クラブが望む講師の派遣もさせていただきます
 - ・各クラブが一步踏み出せるように企画、立案、実施へのヒントを提供させていただきます
- (2) 金銭的に問題があり、一步踏み出せないクラブの方へ
 - ・ロータリー財団の「地区補助金」「グローバル補助金」の活用をお勧めします
 - ・来年度も、本年同様に実施されると思われま。本日は、この中に会長エレクトもおられると思います、来年度地区補助金獲得に向けて、今から計画立案をお願いします。来年度の地区補助金、第一次審査は我々奉仕プロジェクトが行います。どしどしお申込みいただきたいと思ひます。
- (3) 国際奉仕活動も姉妹提携まで進んでいながら、少しマンネリ化だなど思われている皆様には是非、「グローバル補助金」にチャレンジしていただきたいです。大変大がかりな企画、立案が必要なプロジェクトとなりますが大変やりがいがあり、クラブの活性化に一役、買うものと確信いたしております。申請などの難しい部分については、是非、ロータリー財団担当者を各クラブへ呼んでいただき、良く話し合い、一步踏み出す糸口を見つけ出していただきたいと思ひます。

皆さんのお手元のパンフレットの裏面に卓話申込書をつけてあります。卓話だけでなく、質問もどしどしお寄せいただきたいと思います。本日お越しの、各クラブ奉仕プロジェクト関係委員長さんとは、名刺交換させていただきました。より、地区と連携を取っていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

10月10日、奉仕プロジェクトセミナー開催についてお知らせがあります。今まで、国際奉仕活動を実施したけれども、なかなか発表の場がありませんでした。本年度は10月10日に発表の場を設けることにいたしました。

10月10日までに、国際奉仕活動を実施されたロータリークラブの方には「やってきたぞ」と大きな声で内容を発表していただきます。

10月10日から来年6月までの間に実施されるロータリークラブの方には、実施準備も整い「これから出発するぞ」と大きな声でその内容を発表していただきます。

10月になってもまだ活動に躊躇され、一步踏み出せないクラブの方には、国際大会を国際活動に一步踏み出すきっかけとして参加されることをお勧めします。お手元の資料をご覧ください。本年度の国際大会は、来年5月、韓国ソウルであります。成田から2時間近くで参加しやすい大会です。世界大会に参加された方々からは、世界大会に参加しなければ経験できない感動と、国際ロータリーの大きな存在意義を感じることができると聞いております。12分区、全てのクラブの方々の世界大会へのご参加をお願いいたします。

最後に本年の奉仕プロジェクト委員会のスローガンは、後ろの旗に書いてあります。

「一步踏み出そう奉仕活動へ！ 一步踏み出すとクラブに感動と活力がわきます！」

本日、ここにお集まりいただきました第12分区、全てのロータリークラブの皆様が一步踏み出していただき、さらに活躍と発展されますことをお祈りし、奉仕プロジェクト委員会のPR活動を終わらせていただきます。

ありがとうございました。



感謝状贈呈



直前ガバナー補佐 高崎 信昭

代理：松戸中央ロータリークラブ
張ヶ谷 勉 会長

次年度ガバナー補佐 ご挨拶



松戸ロータリークラブ
小倉 純夫

ただ今、ご紹介をいただきました松戸ロータリークラブの小倉でございます。私は松戸ロータリークラブのご推薦を受け、次年度ガバナー補佐のご指名を受けました。どうぞよろしくお願いいたします。

それではご指名いただきましたので、一言ご挨拶申し上げます。

本日、松戸5クラブの合同例会に引き続き開催されました、第12分区インターシティーミーティングは、櫻木ガバナーをリーダーとしてお迎えし、ガバナー補佐・杉浦様主催により行われ、大盛会のうちに終わろうとしております。本日の櫻木ガバナーのご講演では、IMのテーマとして掲げられた「ロータリーをやさしく理解する」にふさわしく、ロータリーの基本理念と歴史に基づいてわかりやすく、ロータリーの基本、核心に触れた上で、具体的なロータリー活動のあり方を学ばせていただき、有難うございました。今後は、これを実践していかなければならないと思います。

本日のIM開催にあたりまして、ガバナー補佐・杉浦様、同補佐幹事の関口様、ホストクラブの細田会長、松尾幹事さんはじめ、松戸西ロータリークラブ会員の皆様のご尽力と関係者の皆様のお力添えに対し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

また、日頃からご指導いただいておりますパストガバナーの土屋様、石井様、得居様に心より感謝申し上げます。

最後になりますが、松戸5クラブの益々の発展と、本日お集まりのロータリークラブ会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、次年度のご協力をお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

次年度ホストクラブ会長 ご挨拶

松戸RC会長エレクト
織田 信幸



本日は5クラブ合同例会、IMに参加しまして、入口に入った時、西クラブの皆様がおもてなしで皆様を迎えてくれました。私はそれが感動しました。本日の櫻木ガバナーのお話と全く同じように、おもてなしの心でロータリアンを迎えていただいた、このように思っております。

来年も小倉ガバナー補佐のもと、素晴らしいIM、そして合同例会を開催したいと思いますので、是非、来年もよろしくお願ひいたします。

以上にて、次年度ホストクラブ会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

閉会挨拶

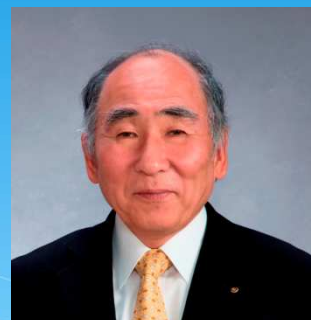


松戸西RC会長エレクト
中村 文典

本日は、第2790地区ガバナー櫻木英一郎様をお迎えしての、インターシティミーティングを無事、終えたことをご報告し、閉会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

2015 - 2016年度ガバナー プロフィール

生年月日 1949年(昭和24)8月19日
事業所 櫻木興業有限会社
所属クラブ 千葉ロータリークラブ
職業分類 不動産賃貸
最終学歴 早稲田大学商学部



国際ロータリー第2790地区
ガバナー 櫻木 英一郎

ロータリー歴
2001年3月 千葉ロータリークラブ入会
2008年～2009年 クラブ幹事
2013年～2014年 クラブ会長

2015 - 16年度「世界へのプレゼントになろう」



世界へのプレゼントになろう

2015 - 16年度 国際ロータリー会長K.R.ラビンドラン氏は、同年度のテーマを「世界へのプレゼントになろう」としました。ラビンドラン氏は、ロータリー会員に、より良い世界をめざして、時間、才能、知識を世界中の地域社会に贈るよう呼びかけます。「ロータリアン会員が自らを『プレゼント』することによって、世界中の人びとの生活を真に改善できるのです」

国際ロータリー第2790地区 第12分区 I.M実行委員会 事務局(松戸西RC事務局内)
I.M実行委員長：浅野 実
構成・編集：三浦 幹敏 河合 直志 山本 衛 稲葉 のりひさ 関口 貴之
〒271 - 0092 千葉県松戸市松戸1281 ユニティビル内
TEL/FAX 047 - 366 - 5656
URL: <http://www.matsudonishirc.sakura.ne.jp/>
Email: matsudonishi@sirius.ocn.ne.jp